

すくすく

## 手足口病・とびひに注意！！

エンゼル川崎

エンゼル中原

エンゼル宮前

エンゼル麻生



今年、例年より手足口病の発生数が多く、流行警報が発令され神奈川県内で患者数が増加しています。また、手足口病の湿疹は痒みを伴うことがあり、汚れた爪でひっかくと、傷口に細菌が感染して伝染性膿痂疹(とびひ)に…。今回のすくすくでは、夏に流行する手足口病・とびひについてご紹介します。

## 『手足口病』ってどんな病気？

手のひら・足の裏・口の中・お尻(肛門のまわり)に小さな水泡や赤い発疹ができる病気です。発熱・下痢・嘔吐を伴うこともあります。感染力も強く、また型が色々あり何度も感染することがあります。

まれですが、髄膜炎・脳炎・心筋炎などを起こすことがあります。今年、成人の方の感染も増加しています。ご注意ください。

## 感染経路

飛沫感染…咳やくしゃみによる感染

接触感染…水ぶくれに触れることによる感染

経口感染(糞口感染)…便の中のウイルスが口の中に入ることにより感染

## 『手足口病』になったらどうしたらいいのでしょうか？

以下のことに注意しましょう

- ◆ 流水と石鹸で手洗いをしっかり行うことが重要です。特に、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前にはしっかりと手を洗いましょう。
- ◆ タオルの共有は避けましょう。

## 『とびひ』ってどんな病気？

手足口病の湿疹やあせも・虫刺されなどをかきこわした傷口に、黄色ブドウ球菌や連鎖球菌などの細菌が感染して起こる病気です。

強いかゆみを伴い接触感染であるため、何度もかいて水泡の膜が破れると、感染力の強い細菌を含んだ液が飛び散り、他の部分にも瞬く間に広がっていきます。水泡が破れたあとは、赤くただれてかさぶたになります。しばらくするとかさぶたも乾いてきれいに取れます。

治療は軽症の場合であれば、抗菌薬の外用薬で良くなります。広範囲であれば、外用薬と併せ抗菌薬の内服治療が行われます。

## 『とびひ』になったらどうしたらいいのでしょうか？

以下のことに注意しましょう

- ◆ 感染力が強いため、必ず治療を受けましょう。
- ◆ 皮膚の清潔を保つためにも、入浴やシャワー浴は行いましょう。
- ◆ タオルの共有は避けましょう。
- ◆ かかないように、患部をガーゼ・包帯で覆いましょう。



※手足口病、伝染性膿痂疹(とびひ)共に早めに受診をしましょう。

参考: 国立感染症研究所ホームページ「手足口病」とは 小児看護「伝染性膿痂疹」